

第6学年 国語科学習指導案

日 時：平成21年10月2日（金）5校時

児 童：第6学年 男18名 女14名 計32名

授業者：黒淵 貴典

場 所：6年教室

1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

教材名 平和のとりでを築く

自分の考えを発信しよう／インターネットと学習 (光村図書「希望」6年下)

2 単元について

(1) 単元について

第5学年及び第6学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」ことである。本単元に関わる内容としては、「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりすること。」が指導事項となる。同じく「書くこと」の目標は、「目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考え文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。」ことである。本単元に関わる内容としては、「ア 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。」「イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。」「ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。」が指導事項となる。

本単元は、「平和のとりでを築く」と「自分の考えを発信しよう」「インターネットと学習」から構成されている。「平和のとりでを築く」の内容を読み取り、筆者の訴えたいことについて理解し、それをきっかけに「自分の考えを発信しよう」で小学校生活6年間で学んだことや体験等から「平和」に対する自分の考えをもち、その考えを発信する学習展開になっている。「平和のとりでを築く」は、原子爆弾によって傷だらけとなった物産陳列館が、多くの人々の平和を願う心によって、世界遺産「原爆ドーム」となった経緯を述べた文章である。日本人としてぜひ知っておきたい史実と、それが世界の遺産となった意味についての筆者の考えを読み取ることで、いかに多くの人々が、現在において「平和」を希求しているかが分かり、続く活動への動機付けにもつながると考える。「自分の考えを発信しよう」は、「平和」というテーマに関わる多様な材料を集め、自分の考えをもち、発信していく学習である。さまざまな情報を集めそれに学ぶだけでなく、それをもとに自分なりの考えを深め、その考えを外部に発信することで表現能力を高めることができる。と考える。

これらのことから、本単元の目標を「筆者が訴えたいことを読み取り、それについて自分の考えをもつことができる。」「『平和』についてさらに考えるために、調べ

たり話し合ったりして、深まった考えを分かりやすく組み立て、書いて交流することができる。」と設定した。

(2) 児童について

「読み・理解する力」については、段落ごとのまとまりを意識させたり文章構成や文末表現等を手がかりにしたりして文章の内容を読み取らせる指導を行ってきた。その結果、事実と感想、意見などとの関係を押さえながら読むことができるようになってきた。

「論理的に考える力」については、文章から読み取った内容についてペアやグループ、全体等で学び合う場を設定し話し合いを行った。その結果、文章の要旨をとらえそれに対する自分なりの考えをもつことができるようになってきた。

「表現する力」については、自分と友達の考えを比較しながら聞き、メモやノートにまとめたり関連することを発表させたりする学習活動を通して、的確に話したり書いたりすることができるようになってきた。

(3) 指導にあたって

「国語の力」を高めるために、次のような仮説に関わる指導を行っていきたい。

①仮説1について

「平和のとりでを築く」の学習では、事実と意見とを区別しながら筆者の考えを丁寧に読み取っていききたい。そこで、一人学びでは、中心文や重要語句にサイドラインを引きノートに書き込みをする活動や読み取ったことを年表の形にまとめる活動を取り入れていく。これらの活動を通して、筆者の考えを正しく読み取りながら「平和」について児童一人一人が深く考え、自分なりの考えを持てるようにし、グループや全体での意見交換会の言語活動に取り組みさせていきたい。その際、ワークシートに自分なりの考えを書かせた後話し合いを行うことで、目的意識を持たせ、どの児童も自分の考えを述べる機会を保障する。

②仮説2について

自分の考えは持っているが、自信が持てず進んで表現することができない児童も少なくないので、ペア学習や少人数による話し合い活動を取り入れ、自信につなげ安心感を持たせ発表させたり自分の考えを書かせたりしていききたい。また、自力解決できない児童にとっても、ペアやグループでの学習を行うことで考えるヒントを得る機会を持たせていきたい。

③仮説3について

第二次において、実際に意見交換会を行うことを単元の導入時に児童に知らせ、見通しを持たせ意識させながら学習に取り組みさせていく。そのためには、まず教材を読み取る力が必要になる。そこで、音読に力を入れ、授業や家庭では毎日取り組むようにする。また、町立図書館と連携して、学級には平和や戦争に関わる図書資料を準備し、単元との平行読書を進めていく。多くの図書資料にふれさせることで、自分の考えを持たせる一助としていきたい。

3 単元目標

- ◎ 筆者が訴えたいことを読み取り、それについて自分の考えをもつことができる。
- ◎ 「平和」についてさらに考えるために、調べたり話し合ったりし、深まった考えを分かりやすく組み立て、書いて交流することができる。

(関心・意欲・態度)

- 筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読んだり、話し合ったり、書いたりしようとしている。

(書くこと)

- 自分の考えを明確に表現するために、材料を選びなおしたり、効果的な文章の組み立てを考えたりすることができる。
- 事実と意見を区別して書いたり対立する意見に反論を述べたりすることができる。

(読むこと)

- 筆者の考えをまとめ、自分はどのように考えるかを明確にしながら読むことができる。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	書くこと	読むこと
○ 筆者の考えを読み取って自分なりの考えを持ち、「平和」について関心をもって読んだり、話し合ったり、書いたりしようとしている。	○自分の考えを明確に表現するために、材料を選びなおしたり、効果的な文章の組み立てを考えたりすることができる。 ○事実と意見を区別して書いたり対立する意見に反論を述べたりすることができる。	○筆者の考えをまとめ、自分はどのように考えるかを明確にしながら読むことができる。

5 単元指導計画（14時間）

次	時	主な学習活動	評価規準（評価方法）
第一 次	1	○題名からイメージを広げたり感想を話し合ったりして学習の見通しを持つ。	【関】「平和」についてイメージを広げている。（発言・ノート）
第二 次	2	○題名と第一段落から読みの課題を共通認識し、全文を読む。	【読】筆者の思いをとらえ、読みの課題を理解することができる（発言・ノート）
	3	○文章構成をつかみ、小見出しをつける。	【読】文章構成をつかみ、小見出しをつけることができる。（発言・ノート）
	4	○物産陳列館が原爆ドームと呼ばれているのはなぜか、どうして保存されることになったのかを読み取る。	【読】原爆ドームが保存されるようになった理由を読み取るができる。（発言・ノート）

	5	○原爆ドームが世界遺産になったのはなぜか、そこにうかがえる世界の人々の思いを読み取る。	【読】原爆ドームが世界遺産となった理由をとらえることができる。 (発言・ノート)
	6	○「平和のとりでを築く」で筆者が伝えたいことは何かを考え、まとめる。	【読】筆者の伝えたいことを読み取ることができる。(発言・ワークシート)
	7 本時	○筆者の考えに対する自分の考えをまとめる。	【読】筆者の考えに対する自分の考えを友達と交流することができる。 (発言・ワークシート)
第 三 次	8	○「平和」について、発信する目的や相手、課題、方法を設定する。	【関】「平和」について自分の課題を持ち、書いたり話し合ったりしようとしている。(発言・ノート)
	9 ・ 10	○自分が伝えたいことに関する情報を集める。	【読】自分の考えに説得力をもたせるために必要な情報の読み取りができる。 (観察・ノート)
	11	○集めた材料をもとに自分の考えをまとめ直し、効果的な文章の構成を考える。	【書】集めた材料の中から必要なものを選択し、自分の意見が伝わるように組み立てを考えることができる。 (観察・ノート)
	12 ・ 13	○「平和」についての自分の考えを書き、推敲する。	【書】自分の考えの根拠となる具体的事例と自分の考えを、読み手に分かるように書くことができる。 (観察・ノート)
	14	○自分の考えを発信し、単元の学習を振り返る。	【関】自分の考えを発信し、単元の学習を振り返ることができる。 (発言・ノート)

6 本時の指導

(1) 本時の目標

筆者の考えをもとに自分の考えを発表して意見を交流することができる。

(2) 展開

段階	学習活動	発問と予想される反応	指導上の留意点 (※支援 ☆評価)
導 入	1 前時の学習を想起する。	○前時は何を学習しましたか。 ・既習内容を発表	※単元計画表や前時の学習から確認する。
	2 本時の学習課題を確認する。		
5 分	「平和」について、筆者の考えに対する自分の考えを発表しよう。		
展	3 本時の学習の見通しを持つ。	○今日の課題を確かめま	※学習の進め方を提

開	・学習の進め方の確認	しょう。	示することでねらいを明確にする。 ※世界平和のための活動についての資料を提示し理解させる。
	4 戦争や平和活動について話し合う。	○原爆ドームを保存したのはどんな目的があったからでしたか。 ○平和のための活動は、どのようなものがありますか。	
35分	5 筆者の考えに対する自分の考えを発表し合う。 (1) 筆者の考えに対する自分の考えをグループごとに発表し合う (2) 全体で発表し考えを深める	○グループごとに自分の考えを発表し合いました。 ・同じところ ・ちがうところ ・学んだこと ○筆者の考えに対するグループの意見をまとめ、交流しましょう。	※聞く時の視点を示し、話し合いで自分の考えを発表者に伝えるようにする。 ☆自分の考えについて友達と意見交流し考えを深めることができる。 (ワークシート)
	終末5分	6 本時の学習を振り返る。 ・自己評価 7 次時の学習内容を確認する。	○今日の学習を振り返りましょう。

(3) 具体的評価規準

評価領域	◎十分に満足できる	○おおむね満足できる	支援を要する児童への手立て
読むこと	友達の考えに対して自分の意見を伝え、筆者の考えに対する自分の考えを進んで発表することができる。	自分と友達の考えを比較しながら聞き、筆者の考えに対する自分の考えを発表することができる	自分と友達の考えの違いに着目させ、友達の考えのよさに気づかせる。

7 板書計画

平和のとりでを築く

大牟田 稔

◎「平和」について筆者の考えに対する自分の考えを發表しよう。

筆者の考え

私達人間は、原爆ドームを見ることで、核兵器や戦争といった過去の過ちを決してくり返さず、平和な世界をつくろうという強い意志（平和のとりで）をもたなければならぬ。

平和を築くため

平和ドーム写真

国連会議写真

オリンピック写真

平和式典写真

大事にしたいこと

- ・ 平和であることに感謝し、平和を守る心を大切にする
- ・ 戦争の悲惨さを語り継ぎ、皆でいましめ合う
- ・ 人間同士互いに理解し合う努力
- ・ 憲法を守り、戦争を繰り返さない

8 参考資料

	本の題名	作者	出版社
1	目で見る戦争とくらし百科①～⑤	小川茂之	日本図書センター
2	戦争とくらしの事典	坂井宏先	ポプラ社
3	原爆写真ノーモアヒロシマ・ナガサキ	高野義夫	日本図書センター
4	被爆者—60年目のことば—	坂井宏先	ポプラ社
5	ぼくの見た戦争 2003年イラク	坂井宏先	ポプラ社
6	戦争が終わっても	坂井宏先	ポプラ社
7	ヒロシマに原爆が落とされたとき	坂井宏先	ポプラ社
8	火の雨がふる	今泉俊昭	金の星社
9	世界史の中の一億人の昭和史④～⑤	牧野喜久男	毎日新聞社
10	井伏鱒二集	井伏鱒二	新潮社
11	21世紀の平和を考える①	坂井宏先	ポプラ社
12	22世紀の平和を考える③	坂井宏先	ポプラ社
13	日本の世界遺産⑤	岩崎弘明	岩崎書店
14	世界遺産Q&A	吉田陽久	シンクタンクせとうち総合研究所
15	世界遺産入門	吉田陽久	シンクタンクせとうち総合研究所
16	ユネスコで世界を読む	橋本寿資	古今書院
17	子どもに伝える世界の戦争と平和①～④	高野義夫	日本図書センター
18	語りつぎお話絵本①～⑧	真当哲博	学習研究社
19	社会・未来・わたしたち④	安齋育郎	岩崎書店

20	戦争ってなあに① おいでおいで	松谷みよ子	国土社
21	戦争ってなあに② つばき地ぞう	宮川ひろ	国土社
22	戦争ってなあに③ 火の壁をくぐったヤギ	岩崎京子	国土社
23	戦争ってなあに④ びんたあめあられ	水谷章三	国土社
24	戦争ってなあに⑤ デイゴの花	桜井信夫	国土社
25	戦争ってなあに⑥ やけあとの競馬うま	小暮正夫	国土社
26	戦争ってなあに⑦ あの世からの贈りもの	小沢清子	国土社
27	原爆の凶物語	宇佐美承	小峰書店
28	ガラスのうさぎ	高木敏子	金の星社
29	ケンの戦場日記	久手堅憲俊	偕成社
30	なぜ戦争は終わらないのか	小林豊	ポプラ社
31	読み聞かせる戦争	加賀美幸子	光文社
32	詩集にんげんをかえせ	峠三吉	新日本出版社

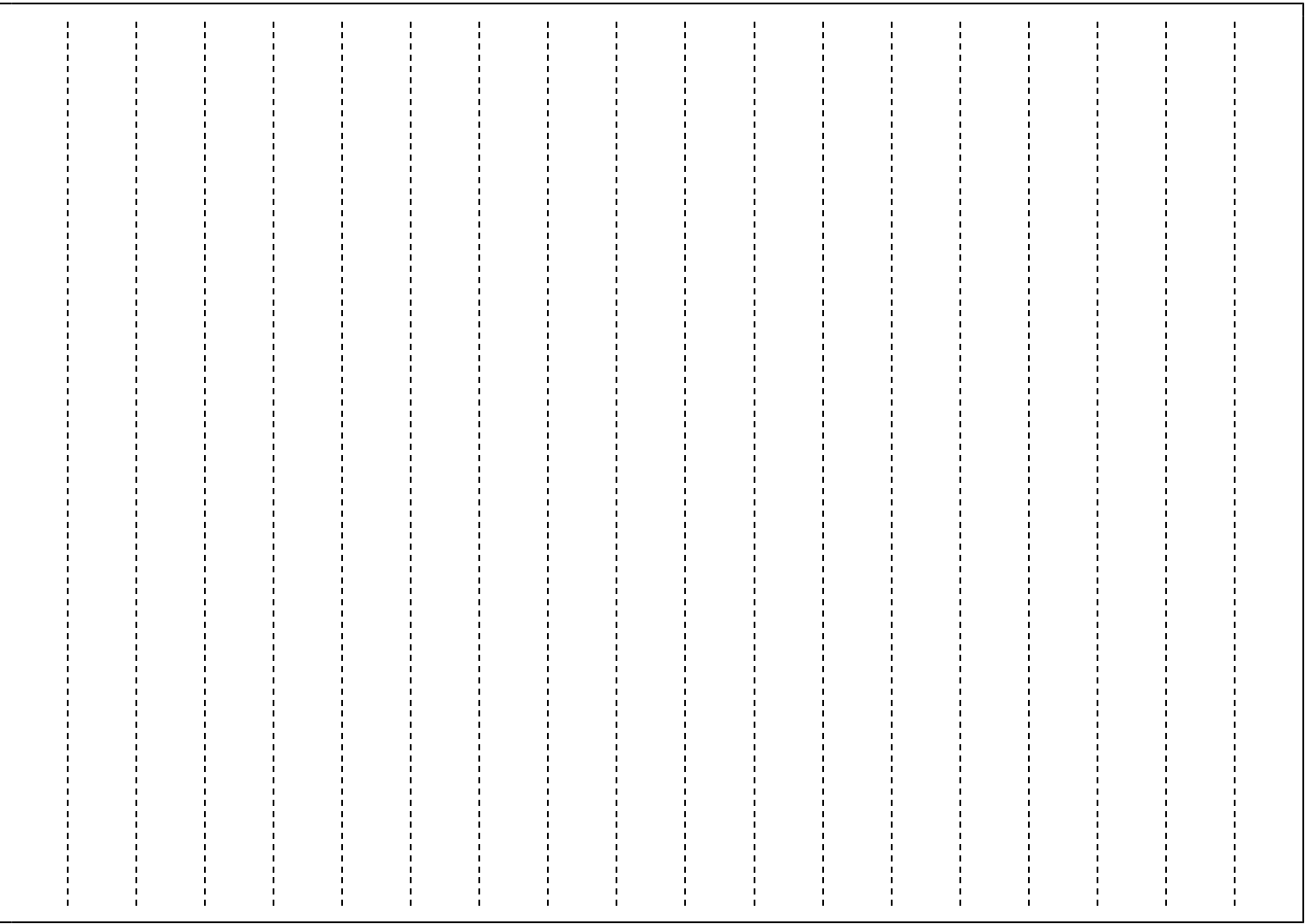
単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

教材名 「平和のとりでを築く」「自分の考えを発信しよう」「インターネットと学習」

学 習 内 容

①	題名から、イメージを広げたり感想を話し合ったりして、学習の見通しを持つ。
②	題名や第一段落から読みの課題を共通確認し、全文を読む。
③	文章構成をつかみ、小見出しをつける。
④	物産陳列館がなぜ原爆ドームと呼ばれているか、どうして保存されることになったかを読み取る。
⑤	原爆ドームが世界遺産になった道のりを読み取る。
⑥	「平和のとりでを築く」で筆者が伝えたいことは何かを考え、まとめる。
⑦	筆者の考えに対する自分の考えをまとめる。
⑧	「平和」について、発信する目的や相手、課題、方法を設定する。
⑩ ⑨	自分が伝えたいことに関する情報を集める。
⑪	集めた材料をもとに自分の考えをまとめ直し、効果的な文章の構成を考える。
⑬ ⑫	「平和」についての自分の考えを書き、推敲する。 <small>すいこう</small>
⑭	自分の考えを発信し、単元の学習を振り返る。

● 今までの学習をもとに、「筆者の伝えたいこと」と「それに対する自分の考え」の二つのままとまりから成る文章を書きましょう。



二

平和のとりでを築く

名前

学習課題

--

視点

--

話し合い①

筆者と同じ考え

--

話し合い②

すぐできそうな案（理由）

一番大切な案について（理由）

振り返り（◎ ○ △）

進んで学習に取り組むことができたか。

筆者の考えに対する自分の考えをもち発表することができたか。

「平和」について友達と意見交流して学び合うことができたか。

--	--	--

感想

--

